

## 介護技術研修会 アンケート R3/12/16

### 1. あなた自身について、教えてください。

■ 年齢（10代 1人・ 20代 3人・ 30代 1人・ 50代以上 2人）

■ お勤めの場所は 水俣市 4人・ 津奈木町 3人）

#### ■ 所属する機関について

介護保険入所サービス事業所 3人

障がい者入所施設 2人

その他（通所介護事業所） 2人

#### ■ 職種

##### 1. 全員介護職

■ この研修を受けようと思った理由を教えてください。

1 職場の方に受けることを勧められたため 6人

2 自ら研修内容に興味を持ったため 1人

##### 2. 各プログラムの内容について、感想をお聞かせください

研修 1 「利用者の思いに気づく、力を活かす 動き出しは本人から」

（日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科 教授 大堀 具視 氏）

（医療福祉行動塾 PLUS ONE）

【内容】 全員理解出来たと回答

【コメント】

- ・今まで行っていた自分の介助よりも利用者も自分自身も楽に介助が出来る方法を知れてよかった。目線を変えるだけでも動きやすい事を知れたので、これから実践していきたい。自分が何気なく生活している動きを介助に置き換えて、それを活用出来る事を知った。
- ・目線一つで体が軽く動くということにびっくりしました。 移乗させる時は、利用者に恐怖心を与えないようにために、手で合図をしたりしようと思った。
- ・利用者の目線と動作は連動している。体全てを介助するのではなく、支えになる部分を介助する。移乗する時は移乗する方向を示すことで利用者の不安や恐怖を軽減することができる。
- ・コロナ禍で全く研修会などなかったのでとてもありがたい機会でした。 実践的にすぐ活用できる技術もとても勉強になりました。 2度に亘りしていただいた事により復習にもなり、より強く、実用的に活かせると思います。 分かりやすく初心者でも勉強になりました。 本当にありがとうございました。 また、機会がありましたらぜひ参加させて頂きたいです。
- ・利用者の思いに気付く、力を活かすとの事で、「目の動きに注目する事」「本人が動き出しやすい環境をつくる」「頭を意識して介助する」これだけで介助のし易さを実感できました。
- ・ちょっとした動き出しを利用者様からして頂くことで、体の重心や支えて体の動きをスムーズにできる事を学びました。
- ・今までの自分の介助をみなおすことができ、人間の体の不思議さを感じた。こんなに力を入れずに介助できるのかと喜びに思った。

## 研修 2 「動き出しは本人から」

(日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科 教授 大堀 具視 氏)

【内容】 1. 全員役に立ったと回答。

【コメント】

- ・コミュニケーション・声かけの大切さを感じました。 声かけも、お尋ねの使いかたをしたいと思った。
- ・ご利用者様には、先に手を出してしまいがちですが、声かけをして、コミュニケーションを取りながら、本人から動き出してもらい、出来る事を出来なくないようにしていきたいと思いました。
- ・何度も聞いているお話ですが、改めて勉強になりました。
- ・あまり技術面の指導が今までなかったので、とても勉強になりました。また、人間の体の仕組みも不思議だなと関心を持ちました。 利用者の事ももちろんですが、自分の体も楽に行動できるのはとても素敵と思い、さらに向上できるよう心して働きたいと思いました。
- ・表情、しぐさ、体の動きを観察し利用者がどの様に思っているのかを感じ取る。 利用者が安心して能力を発揮できる状況が大切、「尋ねる（考えてもらう）」コミュニケーションに変えてみる。
- ・何もかも介助者が先に手を出してしまいがちですが、コミュニケーションを変えることで、あらたに「できる」ことの発見にもつながるんだと分かった。
- ・コミュニケーションの大切さを改めて知る事が出来た。 自分の手で利用者の動き出しを邪魔してしまっていたので、相手に間を作って、相手の動き出しを待ってみようと思いました。一つの出来るを多くしていけるようにしていきたい。

### 3. また、このような研修の機会がありましたら参加したいですか。

1 全員参加したいと回答

### 4. 本日の研修会全般についての感想や今後の研修希望等があればご記入ください。

- ・今回の実技を頭に入れ、思い出しながら今後の仕事に取り組んでいきたいと思った。
- ・久しぶりの実技演習でしたが、すごく楽しく出来ました。 本当にわずかな事で、こんなにも楽に起き上がりができたり、自分だけでなく、患者さんへの負担も少なくなるのならと、これからの現場で活かしていきたいと思います。
- ・実技演習など実際に自分で体験することで少しでも利用者目線を感じとることができたので、良かったです。また、大堀先生が一つ一つ要点を繰り返して説明してくださったので、とても分かりやすかったです。
- ・コミュニケーションを変えて、利用者と接していこうと思った。 「できる」ことを利用者維持して頂くよう対応していく。
- ・ホワイトボードの絵や先生の説明が分かりやすかった。 コロナが落ち着いたら、ZOOMではなく、実際に手本を見てみたい。 周りのスタッフの方もやさしく説明も分かりやすかった。